

2014年10月に3回目のロータリアンの行動規範が改定されました。ラビンドラン会長エレクトの強い要望によって、ロータリアン同士の物質的・金銭的な相互扶助が奨励され、ロータリーは1905年の物質的相互扶助の世界にもどり、**He profits most who serves best** という高邁な職業奉仕理念はアーサー・フレデリック・シェルドンと共にともに消え去ろうとしているのです。

シェルドンやガイ・ガンデッカーの影響を強く受けて作られたロータリー道徳律は、その内容の厳しさから徐々にその適用が制限されて、1931年には配布や宣伝の禁止、1951年には手続要覧から抹消されました。

これに代わるものとして1987年に作られたのが職業奉仕に関する声明ですが、その対象をロータリアンとロータリークラブの双方としたことから、職業を持たないクラブが職業奉仕の実践をすることは不可能との異論が噴出しました。

1989年の規定審議会においてロータリアンの職業宣言が採択されましたが、これはロータリー道徳律の欠点を補い、これを簡略化したものです。

2011年以降の行動規範については、順次詳しく説明しますが、2014年10月の改定は、ラビンドラン会長エレクトの強い要請により、ロータリアン同士の相互取引を推進するための会員特典プログラムとの整合性を図るために改定されたものです。

2011年11月理事会決定

地域社会のリーダーや、退職した人や、現在専門職や仕事に従事していない人が含まれている、現在のロータリー・クラブの会員に配慮して、ロータリー・ブランドを強化するために『ロータリアンの職業宣言』を修正して、『ロータリー行動規範』を創設しました。

1. 全ての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の規範を示すこと
2. 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと
3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと
4. 他者との取引の全てにおいて公正に務め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること
5. 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること
6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること

7. ロータリオンおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと

2014 年理事会

茅ヶ崎湘南ロータリークラブが提案した決議案 13-157「ロータリーの目的の第 2 項をロータリアンの職業奉仕の指針として奨励するよう RI 理事会に要請する件」が採択されて、ロータリー章典が下記のように修正されました。

8.030.1. 職業奉仕に関する声明

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想の実践をロータリーが培い、支援する方法である。

ロータリーの目的の第 2 項は、職業奉仕の基本原則として、特に次の各項を奨励することにある：

- ・ 職業上の高い倫理基準を保ち、
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事；

職業奉仕理念に本来込められているものは次のものである。

- 1) 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべてに対する公正な扱いも含まれる。
- 2) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

- 1 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する
2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する
- 3 自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める
- 4 ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける
5. 事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない

2014 年理事会

茅ヶ崎湘南ロータリークラブが提案した決議案 13-157「ロータリーの目的の第 2 項をロータリアンの職業奉仕の指針として奨励するよう RI 理事会に要請する件」が採択されて、ロータリー章典が下記のように修正されました。

8.

030.1. 職業奉仕に関する声明

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想の実践をロータリーが
培い、支援する方法である。

ロータリーの目的の第2項は、職業奉仕の基本原則として、特に次の各項を奨励することにある：

- ・ 職業上の高い倫理基準を保ち、
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事；

職業奉仕理念に本来込められているものは次のものである。

- 1) 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべてに対する公正な扱いも含まれる。
- 2) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

- 1 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する
2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する
- 3 自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の生活の質を高める
- 4 ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける
5. 事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない

2014年10月理事会決定

☆ 会長エレクトは会員特典カードプログラムは会員の特典として更に会員増強の潜在的な手段として、展開していくことを提案しました。

☆ 評判の良い会社に会員との業者間割引を交渉することによって、ロータリアンに会員特典プログラムを提供すること。

☆ 会員特典プログラムとして、ロータリアンに無料で、参加を希望するロータリアンにバーチャル・メンバーカードを提供することを承認する。

☆ ロータリーの会員情報データの質が限られることを認識すると共に、会員をより惹きつけ、企業パートナーに恩恵をもたらすようにするために、このデータの全体的な質の向上を図る費用効率の高い方法を研究するように要請した。

2014年10月理事会において、ラビンドラン会長エレクトの提案によって、ロータリアン同士の物質的・金銭的な相互扶助が認められるようになったため、こ

れと整合性を保つために、「5. 事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない」が抹消されました。

ロータリーは 1905 年の物質的相互扶助の世界にもどり、**He profits most who serves best** という高邁な職業奉仕理念はアーサー・フレデリック・シェルドンと共にともに消え去ろうとしているのです。